

経営比較分析表（令和元年度決算）

福岡県 吉富町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有効率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	45.91	57.38	101.41	3,170

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,764	5.72	1,182.52
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,870	1.42	2,725.35

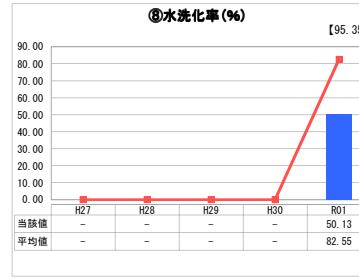
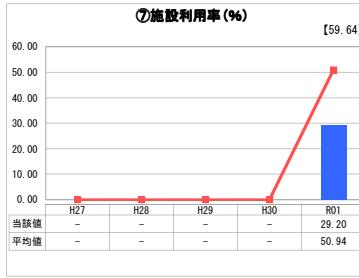
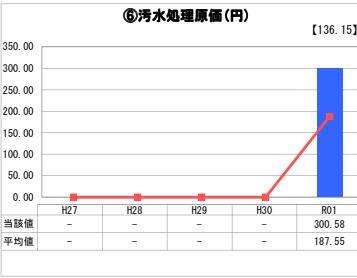
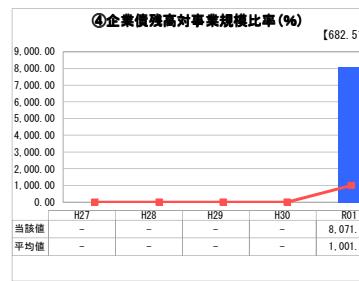
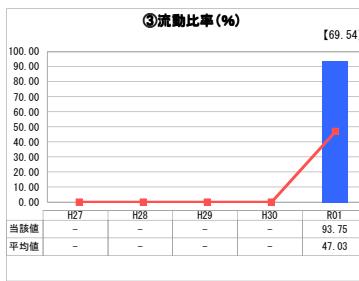
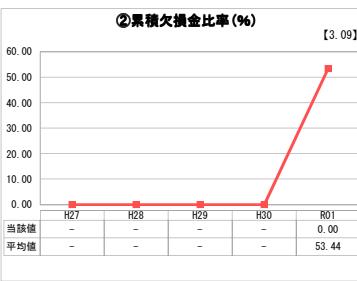
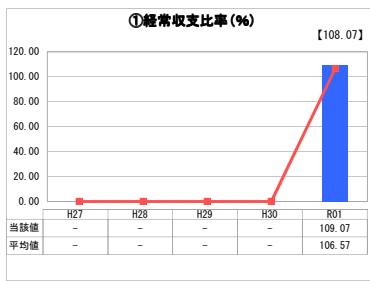
グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
-	類似団体平均値(平均値)
□	令和元年度全国平均

分析欄

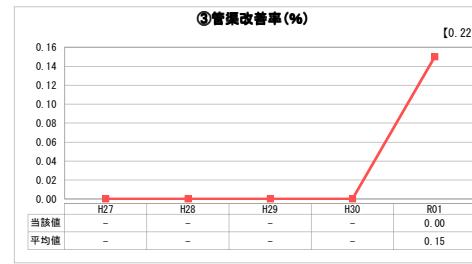
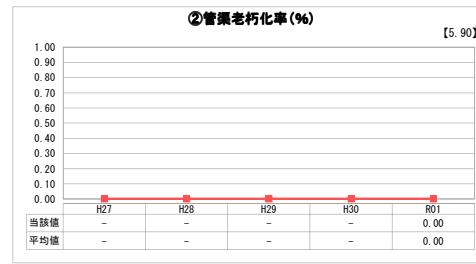
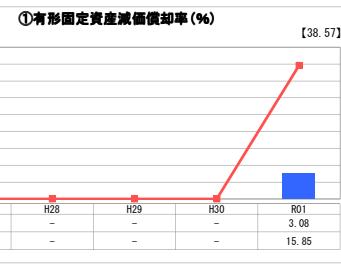
1. 経営の健全性・効率性について

吉富町公共下水道事業は平成9年に事業着手、平成15年度に供用開始している。現在全体計画区域233ha中142haの整備が完了している。

①経常収支比率(%)



2. 老朽化の状況について



全体総括

経営の健全性・効率性については、単年度の収支は黒字であり、累積欠損金も発生していないが、汚水処理費が使用料収入だけで賄えておらず、一般会計繰入金に依存する経営となっている。老朽化の状況については、現在、法定耐用年数に達した管渠はほとんどないが、今後、人口減少による使用料収入の減少や管渠の老朽化による更新費用の増加など、経営環境がより厳しいものとなることが予想されるため、経営戦略（平成29年度策定）に基づき、経営の健全化、効率化を図ることが必要である。

* 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。